

令和7年 1月18日

# futbol y vida

Poco a poco ...  
bogo y bogo ...



2025 年は前橋育英が劇的なPK勝利でスタート!!  
『本気を根気強く』部活動は「人間教育の場」!!

2025年 新年あけましておめでとうございます!!

雲蒸竜変の如く“K's football style”を進化させる!!

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します!!

2025 年のスタートとなった元旦の朝は、西高東低の冬型の気圧配となり厳しい寒さとなりましたが、太平洋側を中心に冬晴れとなり、東京では6時51分に綺麗な「初日の出」が見られ、晴れ晴れとした幸先のいい新しい年を迎えることができました。本年も片倉高校サッカー部への応援&サポートを宜しくお願い致します。

2025 年新春は満身創痍でミニフェスティバルに参戦!!

さて、52 期生チームは、新年の1月5日から昨年より参加している「寒川招待」と新学期早々の「ミニフェスティバル」に精力的に参戦してきました。しかし、私が赴任した五年間で最も人数が少ない上に年末のフェスティバルから怪我人や体調不良者(問題外です)が続出しました。満身創痍の状況で迎えた新年のフェスティバルは人数も常にギリギリでメンバーが組めずに、片倉高校サッカー部を志願している中学生に力を借りなければならぬほどでした。ここに来て、昨年以上に子どもたちのひ弱さとスポーツマンとしての自覚のなさにスタッフ陣は危機感を抱いています。二週間後には今年初の公式戦である新人戦が行われます。まさに待ったなし!!今大会はシード校でありながら、現状ではチャレンジする立場となりました。構想中のメンバーが一度も揃わずに大会を迎えることになりそうです。しかし、この期間でチャンスをもらい成長著しいものもあります。厳しい台所状況は変わりませんがこれも実力のうち。『This is Katakura』を真摯に受け入れて、この二週間しっかりとトレーニングして2月上旬の新人戦に臨みたいと思います。



2025 年謹賀新年



お互い切磋琢磨! 満身創痍の中で挑んだ新春のフェスティバルでは洗礼を受ける

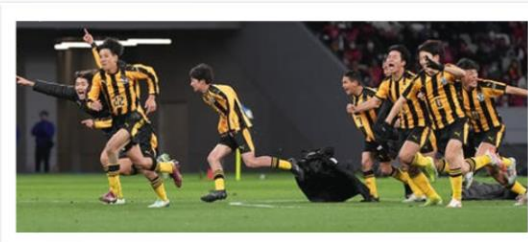
## 第103回 選手権大会決勝は前橋育英が劇的なPK戦を制し二度目の優勝!!

1月13日(祝)に行われた第103回「全国高校サッカー選手権大会」決勝戦は、ともにプレミアEAST所属の前橋育英(群馬)VS流通経済大学付属柏(千葉)のお互い二回目の優勝を目指す関東対決となりました。しかも、第96回大会の再戦(前回は前橋育英が優勝)となった注目のカードはレベルの高いゲームを期待する観客が集まり新国立競技場には高校サッカー大会では史上最多となる**5万8347人**の観客が集まりました。



ゲームは前半12分、流経柏がカウンターからJ2富山に加入する亀田選手(3年)がスキルフルなプレーでシュートを決め先制します。一方、前橋育英は31分に右サイドで巧みな切り返しからのクロスを柴野選手(2年)がヘディングで決めて同点に迫ります。その後は、互いに意地と意地のぶつかり合いの攻防が続き手に汗握るスリリングなゲームは延長戦でも決着がつかずに大会四度目のPK合戦に連れ込みました。

PK合戦は、1人目から七人が連続成功。お互い8人目が失敗し、10人目の流経柏の選手のPKを前橋育英のGK藤原選手が二回目の好セーブ。最後は同点ゴールを決めた柴野選手がPKを決めて、歴史に残る総勢20人のPK合戦に終止符を打ち前橋育英高校が7大会ぶり二回目の優勝を飾りました。前橋育英高校一筋43年、山田監督の体が何度も宙を舞いました。



<歴史的なPK戦を制し優勝した“前橋育英”が喜びを爆発!!>

🏆 PKは藤原選手が二回ストップ 🏆

### <After the Game>

2024年の高校サッカーは前橋育英の優勝で幕を閉じました。おめでとうございます!!

100人以上のJリーガーを輩出する名門前橋育英を43年間指導する今年の優勝監督の山田耕介先生(65)がサッカーをする上で大事にしているのは「人間力」を高めること。この人間力とは考える力、他者や周囲への想像力だと話されています『本気を根気強く』こちらに熱い気持ちがないと伝わらない。こちらが本気にならないと向こうも本気にならない。長崎県島原商時代の恩師小嶺先生の教えが今も生かされているといいます。今の時代、サッカーの指導だけに終始する指導者も多くみられますが、高校サッカー(部活動)は学校教育の一貫であり、忘れがちな大切な原点のところはやはり「熱い気持ち」であると、山田先生の話聞いて確認することができ、何事も物事を成就させるためには莫大な時間が掛かるものだ改めて感じました。現在は、教員職(最後は校長)を退いてサッカーの指導に当たられています。パソコンを駆使しサッカーのトレンドを学び続けている「いくつになっても学ぶ姿勢と情熱を持つ」は、恩師小嶺先生の影響だと話されています。私たち指導者も是非参考にしたいものです。本年もよろしくお願ひいたします!!